

田んぼ 2030 プロジェクト 第2回ミニフォーラム

# 田んぼと生物・文化多様性

～魚のゆりかご水田をはじめとする

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業～



魚のゆりかご水田米

琵琶湖のエリ漁



魚のゆりかご水田生きもの観察会

ラムサール・ネットワーク日本の「田んぼの生物・文化多様性 2030 プロジェクト」では、生物多様性を育む持続可能な農業の実現を目指して、新たな「水田目標 2030」を策定しました。多様な地域の田んぼ景観と生物相は、地域の方々の長年の営みに培われてきたものです。田んぼ 2030 プロジェクトでは、それを田んぼ文化として位置づけ、プロジェクトの名称にも「文化」を取り入れ、2030年までに田んぼの生物・文化多様性の主流化の達成を目指しています。

ミニフォーラムシリーズ第2回では、先ごろ世界農業遺産に登録された「森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」に焦点を当て、琵琶湖を中心とした自然と共生する持続可能な農林水産業、そして人びとの営みについて、滋賀県の農業遺産申請を担当されていた青田朋恵さんに話題提供していただきます。

第2部では「自然の恵み（≡食べ物など）を未来に伝えよう」というテーマで、意見交換を行います。

日時：2022年10月14日（金）18：00～19：40  
オンライン開催（Zoom ミーティング）  
参加費：無料 要事前申し込み  
主催：ラムサール・ネットワーク日本

※このミニフォーラムは地球環境基金の助成を受けて実施しています。  
※「田んぼ 2030 プロジェクト」は以下の企業などからのサポートをいただいています。

JA全農・コープデリ事業連合・MS&AD インシュアランスグループ

## 【申し込み】

下記のオンラインフォームからお申し込みください。  
<https://forms.gle/pTULM72bcfASXuyg6>



MS&AD

MS&AD インシュアランスグループ

## 【プログラム】

### 第1部 話題提供

「魚のゆりかご水田をはじめとする琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」

話題提供：青田朋恵さん（滋賀県 ここ滋賀所長）

### 第2部 参加者との意見交換

「自然の恵み（≡食べ物など）を未来に伝えよう」

#### 【問い合わせ】

NPO 法人 ラムサール・ネットワーク日本  
東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 3F  
〒110-0016  
Eメール info@ramnet-j.org

#### 青田 朋恵（あおた ともえ）

◇現在：ここ滋賀 所長（商工労働  
観光局管理監）

◇これまでの経歴：農業土木職として滋賀県庁に入庁／農業農村整備事業に関する企画・調査等の業務に従事／広報課（県広報誌や県TV番組の企画編集等）に従事／農政水産部農村振興課にて「農山村地域での空き家対策」、「都市農村交流」、「魚のゆりかご水田」など農山村地域の活性化対策に従事／農政水産部農政課で「世界農業遺産」認定に向けて従事／滋賀の首都圏発信拠点「ここ滋賀」で滋賀の魅力や情報を発信。

◇主な仕事：滋賀県の情報発信拠点「ここ滋賀」の運営等に関する総括

◇モットー：食べることで琵琶湖を守る

